

4 小中一貫教育

教育課程特例校(文部科学省指定)

○ ねらい(文科省)

学校または当該学校が設置されている地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するため、当該学校または、当該地域の特色を生かした特別の教育課程を編制して教育を実施する必要等が認められる場合に、教育課程特例校として指定し、学習指導要領等の教育課程の基準によらない特別の教育課程の編制・実施を可能とする。

○ 文部科学省からの承認 平成21年2月23日 申請者 上田市教育委員会

(1) 目標(育成しようとする子ども)

「小中一貫した学習指導」の実施により、以下のような子どもの育成を目指す。

- ① 菅平の歴史、文化、自然を未来につなげる子ども
- ② 菅平に暮らすことに誇りと喜びを感じる子ども



学校教育目標
郷土を拓く大地の教育

(2) 内容

① 教員の専門性を生かした、小・中相互乗り入れ授業

各々の教員がもつ専門性を生かし、より充実した学習指導を目指して、小学校の教員が中学校の授業を持ち、中学校の教員が小学校の授業を持って学習指導にあたる。また、小学校の教員同士でも他学年の授業を担当する。

[平成21年度]

(中→小)小2図工 小3～6音楽 小6社会 小6理科 小5・6外国語活動

(小→小)小2算数

(小→中)中1～3家庭科

② 小中一貫した指導計画の中で、中学校で学習する内容の一部を小学校で学習する

小中一貫した指導計画の中で、中学校の学習内容の一部を小学校で学習することによって、連続性のあるより系統的な学習ができる。また、子どもたちの実態に合わせて、小学校においてより発展的な学習を行うことも可能である。

[平成21年度]

・中学校1年の理科「大地の変化」で学ぶ内容の一部を小学校6年理科「大地のつくりと変化」に移動して指導する。

・中学校1年の理科「植物の世界」で学ぶ内容の一部を小学校6年理科「植物と日光」に移動して指導する。

③「スキー科」「英会話科(中学校)・外国語活動(小学校)」「すがだいらの時間(総合の中で)」の設置

菅平の歴史や文化、産業、自然等を知ったり体験したりして、菅平の良さを継承し、次代の農業先進地及び国際的な観光地を創造するとともに、国際社会に生きるために必要な資質の基礎や、厳しい寒さにも負けない強い心をもつ人材を育てる。

a スキー科…体育科と合わせてスキー活動の実践

b 英会話科・外国語活動…小学校1～4年生でも外国語活動を実施、中学校の実践的英会話の充実

c すいだいらの時間…総合的な学習の時間の中で、ふるさとの自然・産業・歴史・文化に関する学びを積み重ねる。

④小中9年間を見通したきめ細かな生徒指導に努め、一人ひとりの児童・生徒の個性の伸長を図る。

○合同職員会議での情報交換によって小中職員が情報を共有する。共有した情報を元に、より多角的・多面的に児童・生徒を理解し、児童・生徒個々の良さを引き出すとともに、不登校や学校不適應の早期発見に努める。

○特に、中学1年生が環境の変化によって不登校や学校不適應をおこし易いとされるいわゆる「中1ギャップ」に対応するため、中学校職員が小学校児童を理解したり、小学校職員が中学入学後も関わったりなど、小から中への受け渡しを丁寧に行う。

(5)スキー科・英会話科(外国語活動)・すがだいらの時間の時数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
スキー科	3	5	20	30	30	30	20	30	35
英会話科(外国語活動)	10	10	20	20	35 *	35 *	20	30	35
	+13	+15	総合から 40	総合から 50	+10 総合から 20	+10 総合から 20	+10 総合から 30	+10 総合から 50	+10 総合から 60

○小5・6の外国語活動35時間は、学習指導要領に沿った時数。

○すがだいらの時間は、総合的な学習の時間の中に含まれ、各学年の計画による。